

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害福祉サービス事業所 宝満		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 20日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 20日		～ 令和7年 1月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ひとりひとりに向き合い、個々の発達や課題に合った支援を心がけている。	個々に合った療育品を手作りしている。	法人内の他事業所と勉強会を行い、療育内容や療育備品において意見交換し参考にする。
2	季節を感じるような活動を提供している。	共働き等でお忙しいご家庭が多い中、昔ながらの季節感のある行事を提供することによって情緒豊かな利用児の成長を促す目的で行っている。	現在は支援者が活動内容を考え提供しているが、利用児が自らやりたい事を考え、自主的に活動内容を立案する機会を設ける。
3	事業所の建物は、放課後等デイサービスのために建てられたものなので、設備等は適切に配慮されている。	利用児が視覚的に認識しやすいように、写真や図表を活用している。また、余暇時間等スペースを広くとるように配慮している。	利用児が安心・安全に利用できるように、その都度設備・備品が適切な状態であるか、点検と見直しを行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎のできる範囲に限られるため、多くの学校を受け入れることが難しい。	公用車と送迎を行う職員の数の上、送迎の便が限られてくる。	支援学校の通学バスに関しては、同一コースは降車バス停を一つにまとめてお迎え送迎を行っている。
2			
3			